

事例 37 グリーン・サポート・スタッフによる保全管理

(九州森林管理局 屋久島森林生態系保全センター)



- ・ 鹿児島県^{くまげ}熊毛郡^{やくしまちょう}屋久島町 ^{みやのうらだけ}宮之浦嶽国有林
- ・ (左) グリーン・サポート・スタッフによる歩道修理(令和6(2024)年5月)
- ・ (右) グリーン・サポート・スタッフによる看板修理(令和6(2024)年10月)

屋久島の世界自然遺産登録地域は、その面積の95%が国有林であり、九州森林管理局では、そのほとんどを森林生態系保護地域に設定し、厳格な保護・管理に取り組んでいます。

こうした中、近年、一般利用者が増加したことによる歩道の荒廃、大雨等による倒木や土砂崩れなどが発生しているため、歩道等の巡視や保全管理が重要となっており、屋久島森林生態系保全センターでは、グリーン・サポート・スタッフによる歩道周辺の保全活動に取り組んでいます。

令和6(2024)年度は、年間を通して、2名体制で週2回、25か所の歩道を対象として巡視活動を実施しました。また、歩道周辺の倒木処理、土砂崩れ箇所での迂回路整備、歩道修理、立入禁止看板及びロープの設置、一般利用者へのマナー指導などを行いました。

同センターでは、引き続き、職員及びグリーン・サポート・スタッフによる巡視活動を通じて、屋久島の保全管理に取り組んでいきます。